尿酸生成抑制薬　地域フォーミュラリVer.2

推奨	第一推奨	オプション①	オプション②
成分名	フェブキソスタット	トピロキソスタット	アロプリノール
薬価	普通錠 10mg:6.3円（先発：12.4円） 20mg:10.8円（先発：24.9円） 40mg:15.9～17円（先発：40円） OD錠 10mg:6.3円 20mg:10.8円 40mg:15.9～17.8円	20mg:14.8円 40mg:28.9円 60mg:39.8円	50mg：10.8円 100mg：10.8円
用法用量	〈痛風、高尿酸血症〉 通常、成人にはフェブキソスタットとして1日10mgより開始し、1日1回経口投与する。その後は血中尿酸値を確認しながら必要に応じて徐々に増量する。 維持量は通常1日1回40mg 〈がん化学療法に伴う高尿酸血症〉 通常、成人にはフェブキソスタットとして60mgを1日1回経口投与する。	〈痛風、高尿酸血症〉 通常、成人にはトピロキソスタットとして1回20mgより開始し1日2回朝夕に経口投与する。 その後は血中尿酸値を確認しながら必要に応じて徐々に増量する。 維持量は通常1回60mgを1日2回	〈痛風、高尿酸血症〉 成人は1日量アロプリノールとして200～300mgを2～3回に分けて食後に経口投与する。 年齢、症状により適宜増減する。
禁忌	メルカプトプリン水和物又は アザチオプリンを投与中の患者	メルカプトプリン水和物又は アザチオプリンを投与中の患者	なし
特徴 推奨理由	尿酸低下作用が強く、服用回数が1日1回。 OD錠の剤形がある。 がん化学療法に伴う高尿酸♕症の適応がある。	腎機能中等度低下患者においても薬物動態パラメーターは腎機能正常患者と変わらない。 1日2回服用のため尿酸値の日内変動を小さくできる。	価格が安い。

尿酸低下作用：フェブキソスタット＞トピロキソスタット＞アロプリノール